

ふれあい通信



蒲生 吉夫

がもう・よしお

- 飯豊出身
- 千葉県支部

「ふるさと」は私の元気エネルギー

年を重ねるごとに、いかに生きたらいいのか。「ぴんぴんころりがいい」などと、勝手に虫のいいように考えるようになってきています。そこでできるだけ理想に近づきたいと、無駄な抵抗をしているこの頃です。

身心を鍛えるためにと地域の卓球クラブに入り、小学校の体育館を借りて汗を流しています。26歳から85歳までの幅広いメンバーの皆さんとやっています。球技の中では一番小さな直径4cmのボールを思いっきりラケッ

トで叩くと、普段たまっているストレスが吹き飛んでしまい、スカッとするんです。ほかには、喉の筋肉を鍛えようと「民謡」をやっています。民謡をやっていたら餅ものどにつかえずおいしく食べられると、何の根拠もないのに思い込み、ほかの人には聞かれないのを見計らって唄っています。

また本当に小さな小さな畑をやっています。種を蒔き、芽が出てくるとなぜかうれしくなっちゃうんです。自然の不思議さを肌で感じ、これがすごく健康にいいなと思います。

ふるさと小野町会千葉県支部の催しものにはできるだけ参加したいと思っています。ふるさとのつながりは、心を和ませてくれるからです。先日、小野町会から『ふるさと宅配便』が届き、ふるさと小野町の野菜やうどんをおいしくいただきました。ありがとうございました。ふるさとを思い出させてくれ、元気をもらった気持ちになりました。こうした故郷のつながりは、心身ともに元気に生きるエネルギーを作り出してくれます。

地名の由来が面白い！

皆さんお久しぶりです。地域おこし協力隊の菅原です。本誌では毎月何かしらのかたちで掲載されているので、久しぶりではないかもしれませんがね。

12月号では、地図を製作中とお話させていただきましたが、ついに完成しました。現在はほかの記事と併せて移住者用資料として、東京のふるさと回帰支援センターに置かせていただいています。

見出しの「地名の由来」ですが、町史や本誌のバックナンバーに大字ごとの地名の由来がいくつか掲載されていました。なかでも、折れた牛の角が金色に輝きながら川面を流れたという浮金や「神平に奇石あり(中略)その形籠に似たるを以(もつ)て籠石と呼ぶ」(田村郷



移住者用資料の
デザイン・レイアウトを
担当しました！

土史)ことから地名となった皮籠石、坂上田村麻呂が征夷の命で小戸(御所南の戸)から出陣し、東堂山で諸仏を勧請したことが由来になった小戸神など、由縁がはっきりしていて興味深いです。由来のわからない大字もありますので、ご存じの方はぜひ私に教えてください！